

授業計画表

教科名	理容・美容総合技術理論（現場実習）						
対象科	トータル科	学年	2年	必選	選択	単位数	5（150時間）
担当教員 <small>（実務経験の有無）</small>	池山 英一ほか [有]						

授業計画

回	項目	内容
91～95	店舗研修	商品知識について学ぶ
96～100	店舗研修	現場にて実習（OFFJT）
101～105	店舗研修	〃
106～110	店舗研修	〃
111～120	店舗研修	〃
121～125	現場実習	現場にて実習（OJT）
126～130	現場実習	〃
131～135	現場実習	〃
136～140	現場実習	〃
141～145	現場実習	〃
146～150	現場実習	〃
151～155	現場実習	〃
156～161	実務研修の心構え	インターンシップの目的、参加の心構えほか
162～167	実務研修の依頼	企業等とのマッチング日程調整
168～173	挨拶状・レポート作成	必要書類作成
174～233	実務実習	就業体験
234～240	インターンシップまとめ	体験報告

教育目標 ねらい	実際の現場を知り、将来の目標について考えるきっかけとする。
授業の概要	実際の店舗にて実習受け入れ先の企業と共に授業を行う。
評価方法	1. 授業の出欠状況 2. 授業受講の熱心さ
受講心得	校則に従い授業を受けてもらいます。定期テストをおこないます。
資格対応	
関連科目	美容技術理論
テキスト 及び 参考文献	公益社団法人日本理容美容教育センター発行の「美容技術理論1及び2」。

成績評価基準			
到達目標の各観点と成績評価方法の 関係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度		○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度		○	○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力			○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の実務経験
の有無について

美容師免許を有し美容所において勤務経験あり。

授業計画表

教科名	理容・美容総合技術理論（相互導入）						
対象科	トータル科	学年	2年	必選	選択	単位数	1（30時間）
担当教員 <small>（実務経験の有無）</small>	山口 孝[無]						

授業計画

回	項目	内容
31～32	障害者支援施設 養楽荘	理容・美容の知識・技術を生かした地域福祉活動に関すること。
33～34	障害者支援施設 養楽荘	〃
35～36	学園祭	学園祭に友人を招き、学校についてプレゼンテーションを行う。
37～38	学園祭	〃
39～40	学園祭	学園祭に参加し、他学科の学生と交流する。
41～42	学園祭	〃
43～44	他学科授業	他学科の授業に参加し、知識を広げる。
45～46	他学科授業	〃
47～48	学校行事	学校の行事に参加し、ショーについての知識を広げる。
49～50	学校行事	〃
51～52	オープンキャンパス	オープンキャンパスの運営スタッフとして、来られる方とコミュニケーションをとることができる。
53～54	オープンキャンパス	〃
55～56	他学科授業	他学科の授業に参加し、知識を広げる。
57～58	他学科授業	〃
59～60	他学科授業	〃

教育目標 ねらい	さまざまな学内行事や学外行事に参加し、チームとしての役割や動きを理解することで、責任感と行動力、表現力を身に付ける授業を行う。
授業の概要	地域イベント等の準備や後片づけ、参加者等への説明などの経験を通じ、座学では得られない社会とのコミュニケーション力を学ぶ。
評価方法	1. 授業の出欠状況 2. 授業受講の熱心さ
受講心得	校則に従い試験を受けてもらいます。
資格対応	特になし。
関連科目	特になし。
テキスト 及び 参考文献	特になし。

成績評価基準			
到達目標の各観点と成績評価方法の関係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度		○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度		○	○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力			○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の
実務経験
の有無について

なし。

授業計画表

教科名	理容・美容総合技術理論（日本文化）						
対象科	トータル科	学年	2年	必選	選択	単位数	2（60時間）
担当教員 <small>（実務経験の有無）</small>	山口 孝[無]						

授業計画		
回	項目	内容
1～4	総論、理容・美容の語義	理容と美容の現代社会との関わり方、その姿勢を考える。
5～8	理容業・美容業の歴史	理容業・美容業はどのように発生したのか。庶民や武士の関わり合い方を理解する。
9～12	江戸幕府と髪結業のかかわり	江戸時代の制度に守られた理容業はどう発展していったのか。女髪結いの弾圧や抵抗を学ぶ。
13～16	明治から昭和の理容と美容	明治時代の西洋文化の流れの中での理容業、美容業、第二次世界大戦後の発展を学ぶ。
17～20	日本のファッション文化史	縄文・弥生・古墳時代の髪型・服装・装身具を創造してみよう。
21～24	古代 飛鳥・奈良・平安時代	大陸文化の影響を受けたファッションの世界を理解する。
25～28	中世	平安時代の独自のファッションの世界を学ぶ。
29～32	中世	平安時代の独自のファッションの世界を学ぶ。
33～36	中世	平安時代の独自のファッションの世界を学ぶ。
37～40	近世前期 戦国時代 安土桃山時代	戦乱の時代から新時代の成立のあたり、化粧、髪型、服装の変化を理解する。
41～44	近世後期 江戸時代中・後期	男性の髪型は職業によって区別されるようになり、女性の髪型は日本髪特有のスタイルの完成を学ぶ。
45～48	近代 明治・大正・昭和20年まで	明治期の西洋文化の導入による髪型、ファッションによる変化。大正・明治20年までの変化を解消する。
49～52	現代 I 1945～1950	日本的美的意識が優れていき個人の選択にゆだねられる時代とアメリカの影響を学ぶ。
53～56	〃	〃
57～60	〃	〃

教育目標 ねらい	日本の髪型・服飾文化を時代の流れと共に理解する。
授業の概要	教室において講義形式にて授業を進める。教科書全般だけではなく問題集などから理解度を深める。
評価方法	1. 授業の出欠状況 2. 授業受講の熱心さ
受講心得	校則に従い授業を受けてもらいます。小テストをおこないます。
資格対応	特になし
関連科目	特になし
テキスト 及び 参考文献	公益財団法人 日本理美容教育センター発行 文化論

成績評価基準			
到達目標の各観点と成績評価方法の 関係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度		○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度		○	○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力			○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の
実務経験
の有無について

理容師免許を有し理容所において勤務

授業計画表

教科名	理容・美容総合技術理論（ヘアメイク）						
対象科	トータル科	学年	2年	必選	選択	単位数	7（210時間）
担当教員 <small>（実務経験の有無）</small>	高橋秀典 [有]						

授業計画（授業の方法及び内容）

回	項目	内容
271～280	ウィック	時間内にイメージした作品を完成する事ができるようになる。細部を意識し完成度を高める。
281～290	ウィック	時間内にイメージした作品を完成する事ができるようになる。細部を意識し完成度を高める。
291～300	ウィック	1 Semesterで習得した技術を使いヘアスタイルを完成させる事が出来るようになる。
301～310	トレンドヘアを知る	カラージュシートを完成させることが出来る。今のトレンドを踏まえ自分好みを見つけることができる。
311～320	ヘア道具の種類	ヘア道具の種類や、スタイリング剤の特徴を知り、使い分けの仕方を理解する。
321～330	コテ、アイロンの使い方	コテ、アイロンの使い方を理解し色々な巻き方のバリエーションプレゼンができる。
331～340	ヘアピン、ヘアゴムの使い方	ヘアピン、ヘアゴムの種類や特徴を理解し、ピニングが出来る。
341～350	編み込みの仕方	バランスの取れた裏編み、表編み、ロープ編みの3種類の編み込みができる。
351～360	トレンドヘア カジュアル	トレンドを生かしカジュアルでモデルに似合うバランスの取れたヘアアレンジができる。
361～370	相モデル実習	コテ、アイロンを使ってモデルの髪を綺麗に巻くことができる。
371～380	トレンドヘア シンプル	トレンドを生かし、カジュアルでモデルの髪を綺麗に巻くことができる。
381～390	トレンドヘア キュート	トレンドを生かしキュートで動きのあるヘアアレンジをプレゼンできる。
391～400	トレンドヘア クール	トレンドを生かしクールで面の綺麗なヘアアレンジが出来る。
401～420	ヘアアレンジレシピ制作①	これまでの実習を踏まえトレンドを生かしたオリジナルのヘアアレンジを考案することができる。
421～440	ヘアアレンジ制作②	トレンドを生かしたオリジナルのヘアアレンジレシピを元に、ウィックを使用し形にする。
441～450	ヘアアクセサリ制作	オリジナルのヘアアレンジに似合ったアクセサリを制作してプレゼンすることができる。
451～460	オリジナルヘアアレンジ	オリジナルレシピを元にヘアアレンジを行い、ヘアアクセサリをバランスよく装飾することができる。
461～480	トレンドヘア 模写	コレクションのヘアアレンジを模写することが出来る。

教育目標 ねらい (到達目標)	ヘアアレンジの基本、ヘア道具の使い分けとトレンドヘアのアレンジの仕方を伝え、トレンドヘアのポイントを生かしたオリジナルのヘアアレンジを習得する。
授業の概要 (授業期間全体を通じた授業の進め方)	「イメージ」「テーマ」「シチュエーション」に応じたヘアデザインのパターン及び技術を習得する。
評価方法	学期末定期試験で、ウィッグを使った作品を1人1体作成する。課題内容・審査基準・計測時間・は事前に通知し、全員同基準で審査をする。
受講心得 (準備学習の具体的な内容)	設備や道具・器具の使い方や注意点を理解しておく。また、人体の構造、特に髪をの構造を理解する。
資格対応	無し
関連科目	ブライダルヘアメイク
テキスト 及び 参考文献	技術理論1

成績評価基準

到達目標の各観点と成績評価方法の関係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度	○	○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度	○		○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度	○	○	○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力	○		○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の実務経験の有無について	美容室での実務経験が20年以上の教員が担当します。
------------------	---------------------------

教育目標 ねらい	ネイルの基礎的な技術を習得。イベントなどでニーズに応えられる技術を提供できるようになる。
授業の概要	ネイル基礎からセルフネイル、アートなどの技術を習得できる授業を行う。
評価方法	1. 授業の出欠状況 2. 授業受講の熱心さ
受講心得	校則に従い授業を受けてもらいます。定期テストをおこないます。
資格対応	
関連科目	美容技術理論
テキスト	公益社団法人日本理容美容教育センター発行「ワークブック」外国語

成績評価基準

到達目標の各観点と成績評価方法の関係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度		○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度		○	○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力			○

※表内の○印を評価の対象とする。

担当教員の勤務状況
の有無について

担任師免許を有し担任所において勤務状況あり。担任師免許を有し担任所において勤務状
況あり

授業計画表

教科名	理容・美容総合技術理論（メイクアップ）						
対象科	トータル科	学年	2年	必選	選択	単位数	4（120時間）
担当教員 <small>（実務経験の有無）</small>	水野 詩麻ほか〔有〕						

授業計画

回	項目	内容
121～128	ベースメイク（ツヤ肌・マット肌）	基本技術を応用し、テーマとなるメイクアップを美しく仕上げることができる。
129～136	ベースメイク（コンシーラーの使い分け）	〃
137～144	眉の描き方①アーチ型	〃
145～152	眉の描き方②平行太眉	〃
153～160	アイシャドウの入れ方①横グラデーション	〃
161～168	アイシャドウの入れ方②カラーアイシャドウ	〃
169～176	アイライナーの引き方	〃
177～184	リップラインの取り方①赤リップ	〃
185～192	チークの入れ方	〃
193～200	イメージメイク①キュート	イメージに合うメイクテクニックを習得し、イメージ通りのメイクアップを完成させることができる。
201～208	イメージメイク②クール	〃
209～216	イメージメイク③エレガント	〃
217～224	イメージメイク④フェミニン	〃
225～232	イメージメイク	カラーバランスが美しく整ったメイクが完成している。
233～240	カラーメイク	基本技術を応用し、テーマとなるメイクアップを美しく仕上げることが出来る。

教育目標 ねらい	応用テクニックを用いて、より幅広いメイクアップ技術を習得するモデルの肌色や顔立ちに合わせて、その人に似合うメイクができる。
授業の概要	道具の使い方や、手つきがスムーズになるためには積み重ねが必要なので、普段のメイクに取り入れ、復習すること。
評価方法	1. 授業の出欠状況 2. 授業受講の熱心さ
受講心得	校則に従い授業を受けてもらいます。定期テストをおこないます。
資格対応	
関連科目	着付け、ネイル、ブライダル エステ
テキスト 及び 参考文献	メイク道具一式

成績評価基準			
到達目標の各観点と成績評価方法の関係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度		○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度		○	○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力			○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の
実務経験
の有無について

美容師免許を有し美容所において勤務経験あり。

授業計画表

教科名	理容・美容総合技術理論（ブライダル・エステ）						
対象科	トータル科	学年	2年	必選	選択	単位数	3（90時間）
担当教員 <small>（実務経験の有無）</small>	水野 詩麻 [有]						

授業計画		
回	項目	内容
91～96	フェイシャル電気機器	オリエンテーション
97～102	電気機器	パター、実技理論、デモンストレーション
103～108	フェイシャル電気機器	低周波・高周波、実技理論、デモンストレーション
109～114	機器練習・理論復習	実習
115～120	フェイシャル電気機器	実習
121～126	フェイシャル電気機器	パター、ブラシ洗浄、実技理論
127～132	フェイシャル電気機器	パター、高周波
133～138	電気トリートメント	クライアントに応じた機器の選択ほか
139～144	総合授業	総合授業
145～150	皮膚生理学、化粧品学	カウンセリングシート作成
151～156	総合実技	総合実技
157～162	アフターカウンセリング	カウンセリングシート作成に基づくアドバイス
163～168	フェイシャルテクニック	クレンジング、電気トリートメントほか
169～174	総合実技	総合実技
175～180	フェイシャルテクニック総合	クレンジング、カウンセリングほか

教育目標 ねらい	接客の基礎も含め、フェイシャル中心に実施するが、それでも全身も想定した教育に少しでも近づけていく。
授業の概要	フェイシャルスキンケアの道具の使い方やフェイシャルスキンケアの基礎について授業する。
評価方法	1. 授業の出欠状況 2. 授業受講の熱心さ
受講心得	校則に従い授業を受けてもらいます。定期テストをおこないます。
資格対応	
関連科目	メイクアップ
テキスト 及び 参考文献	日本エステティック業協会テキスト

成績評価基準			
到達目標の各観点と成績評価方法の関係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度		○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度		○	○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力			○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の
実務経験
の有無について

美容師免許を有し美容所において勤務経験あり。

教育目標 ねらい	指定時間内に着付けができるようになる。
授業の概要	着物の各部の名称と畳み方から着付技術を身につける。(応用)
評価方法	1. 授業の出欠状況 2. 授業受講の熱心さ
受講心得	校則に従い授業を受けてもらいます。定期テストをおこないます。
資格対応	
関連科目	美容技術理論
テキスト 及び 参考文献	着付け用具

成績評価基準			
到達目標の各観点と成績評価方法の関 係及び配点	テスト (定期試験)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (取り組む姿勢・態度・ 意欲・出席率)
【関心・意欲・態度】 ※学修に取り組む関心度		○	○
【知識・理解】 ※教科の理解度		○	○
【技能・表現・コミュニケーション】 ※専門知識の理解度			○
【思考・判断・創造】 ※考え抜く力			○

※表内の○印を評価の対象とする。

※対象となる箇所にはそれぞれ達成水準を設ける。達成水準は以下の通りです。

[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

担当教員の
実務経験
の有無について

美容師免許を有し美容所において勤務経験あり。